



2023年7月20日発行

拝啓

梅雨も明け、いよいよ本格的な暑さがやって参りました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

七月に入り、日傘や日焼け止めが欠かせない時期になりましたね。外は暑いですが図書館は涼しいのでぜひ足を運んで、本を読んで一休みしてください。暑い時期のおすすめの本はホラー小説です。夏に読むホラーは格別なのでよかったらお手に取ってみてください。

背筋がひやっとするような怖い作品に皆さんが出会えますように。

かしこ

--今月号のラインナップ--

Calendar

2023年8月～9月カレンダー

LiLian Special Info.

本がスマホで読めるってホント?!

今月の一冊

『竜馬がゆく』

LiLian Interview

吉松純先生（人間科学部 宗教主事）



2023年8月・9月 カレンダー

8月

◎ 8:30~20:00

○ 9:00~16:30

日	月	火	水	木	金	土
		1 ◎	2 ◎	3 ◎	4 ◎	5 休館
6 休館	7 ○	8 ○	9 ○	10 ○	11 休館	12 休館
13 休館	14 休館	15 休館	16 休館	17 休館	18 休館	19 休館
20 休館	21 休館	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○	26 休館
27 休館	28 ○	29 ○	30 ○	31 ○		

9月

◎ 8:30~20:00

○ 9:00~16:30

日	月	火	水	木	金	土
					1 ○	2 休館
3 休館	4 ○	5 ○	6 ○	7 ○	8 ○	9 休館
10 休館	11 ○	12 ○	13 ○	14 ○	15 ○	16 ○
17 休館	18 ◎	19 ◎	20 ◎	21 ◎	22 ◎	23 休館
24 休館	25 ◎	26 ◎	27 ◎	28 ◎	29 ◎	30 ○

最新情報はHPを
ご確認ください →



LiLian Special Info.

本がスマホで読めるってホント？！

みなさんは、大学図書館に電子図書館があることを知っていますか？
実は、大学図書館では紙媒体の本だけでなく、学外からでもオンライン環境があれば、手持ちの端末から気軽に本を読めるんです！

電子図書館の書籍の数は、現在約420あります。文豪小説から動物の可愛らしさが詰まったフォトブックまで、ジャンルがとても豊富です。特にレシピ本は最も冊数が多く、スイーツの作り方だけでなく、食材の使いきりレシピなど幅広くあります。少し時間のあるお休みの日やちょっとした休憩時にぜひ覗いてみてください。

また、ここにある書籍は図書館で紙媒体での取り扱いがない本もあります。図書館まで足を運ばず、家でも借りてその場で読める、本をより身近に感じてもらえると思います！紙の本と電子書籍、それぞれのいいところを見つけてあなたの好きな一冊を見つけてください。

[使い方]

① 大学図書館のホームページを開き、右側（カレンダーの下）にある「digital library スマホで読める本」をタップする。

② ID、パスワード共に学籍番号を入力してログインする。

③ 読みたい本を探す。



(りさ)

*** 今月の一冊 ***

『竜馬がゆく』 司馬遼太郎／著

913.6
Sh15
8(1)-(6)

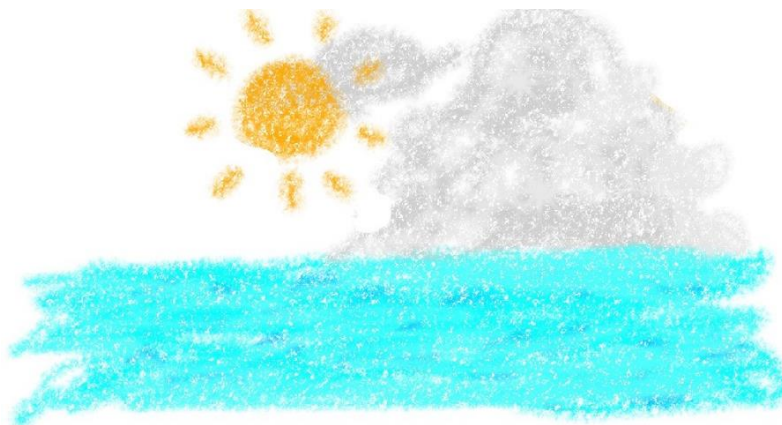
閲覧室3F

著者の司馬さんは、この8月で生誕100周年を迎えます。

私は司馬さんの本に出会い、それまで避けてきた歴史小説のおもしろさを知りました。

この本では、土佐の郷士の次男坊から英雄へと成長する竜馬(坂本龍馬)の劇的な生涯、ひたむきに生きる若者たちがいきいきと描かれています。竜馬の“芯の強さ”や“先見の明”に強く心を打たれました。前を向き、自らを奮い立たせてくれる作品だと思います。

(うまかほ)





LiLian Interview

大すきな先生に
インタビューに
行こう 55

人間科学部 宗教主事

吉松 純 先生



1. 休みの日は何をしていますか？

普段の休みは美術館巡りや家の庭の手入れをします。また、月に2回日曜日に教会で説教をしています。そのため、土曜日は説教の準備に充てることがあります。長期の休みは海外を旅行して美術館や教会を巡ります。今年はオランダのアムステルダムやドイツのデュッセルドルフで教会と美術館を10か所以上訪問しました。

2. 学生時代のアルバイトなど、心に残った経験を教えてください。

アメリカの教会で行われていたキャンプです。私は大学生の頃から39年間アメリカに住んでいました。大学は勉強が忙しかったのですが夏休みが3か月あったので、アルバイトで指導者として教会のキャンプに参加し、小学3年生～中学3年生の子どもたちと過ごしました。NY ロングアイランド先端のシェルター島で、駐在日本人の子どもが80人ほど参加する3週間の長期キャンプです。外で礼拝をしたり聖書の勉強、讃美、水泳やカヌーやスポーツなど、すごく楽しくて充実した日々を過ごしました。30年間参加したこのキャンプは、人生を変えるきっかけをくれた大切な経験です。

3. おすすめの旅行先はどこですか？

イタリアです。ローマ、フィレンツェ、ジェノヴァなど有名な場所が多く、美術と教会が充実しています。美術館では手の届きそうな位置に作品が展示されています。また、今年3月に訪れたオランダのアムステルダムもおすすめです。ゴッホ、フェルメール、レンブラントの作品を鑑賞しました。さらに、『フランダースの犬』の舞台となったベルギーのアントワープ聖母大聖堂もおすすめです。教会の中にはネロが見たがっていたルーベンスの絵が飾られており撮影も可能です。外の広場にはパトラッシュ(犬)とネロの石像が飾られ(横たわっ)ています。

4. 先生のマイブームは何ですか？

ネクタイを集めることです。今日のネクタイは聖書の出エジプト記の柄です。主に、聖書をモチーフにした柄のネクタイ、面白い柄のもの、絵画がプリントされたものを探しています。絵画のネクタイは、よく海外の美術館で売っているのもので、美術館を訪れた際は欠かさずチェックしています。お気に入りのネクタイは4本あります。1つは、友人からもらった聖書の本の名前が書かれたネクタイです。他に、Tの文字が大胆にデザインされたもの、アメリカで子どもたちからもらったスヌーピーのネクタイ、母校の紋章が入ったネクタイです。

5. 座右の銘は何ですか？

1 つ目は「喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい。」という聖書のローマの信徒への手紙 12 章 15 節の言葉です。ライバルに負けた時は悲しい・悔しいといった感情が出てくるため、勝って喜ぶライバルと一緒に喜ぶのは難しいことです。この言葉は若いときから意識しており、また目指しているものです
2 つ目は「どのみち後悔するならやらずに後悔するよりやって後悔しよう」です。迷った時やらないと後悔します。やってみて、もし失敗したとしても学ぶことができるし、世界も広がります。成功したらラッキーだと思います。

6. 教員になった理由は何ですか？

アメリカの教会でのキャンプと同時多発テロ事件をきっかけに教育の道へ進むべきだと考えたからです。
アメリカの大学では美術を学びました。
キャンプで子どもと密に接し、キリスト教教育をしたいと思い、大学院に進んで牧師になりました。
その後同時多発テロが発生し、教会で説教しているだけではなく、皆が小さい頃からいろいろと学ぶべきなのだと思います、教育大学院で美術教育を学び直しました。
日本人がいない地域の教会で牧師をしており、
次は日本人・日系人の多いところに行きたいと思っていた頃、
日本基督教団から「日本で先生をしてみないか？」と電話があり、
これは神様からの招きだと思い名古屋に来ました。



7. 人生において大切だと思えることを教えてください。

初めから何でも決めつけずあきらめないで挑戦することです。日本人は他人の目を気にする傾向があるので、人は人、自分は自分というマインドが大切だと思います。決めつけずにやってみないと道は開けません。何事もチャレンジしてみることが人生において大切だと思います。

8. 本気で好きな本を教えてください。

1 冊目はオスカー・ワイルドの短編集『幸福な王子』です。オスカー・ワイルドは 19 世紀後半に活躍したイギリス人の作家ですが、この本にはオスカー・ワイルドの信仰と思いがこもっています。短編集の中の『わがままな大男』という話もおすすめです。

2 冊目はトルストイの『人はなんで生きるか』です。トルストイの信仰が書かれています。

この二人の短編集ほどスツと入ってきたものはありません。子どもに語るように書かれておりわかりやすく、キリスト教の真髓が表れています。是非読んでください。



☆インタビューを終えて

インタビューを受けてくださりありがとうございました。

先生はとっても楽しく話してくださりあっという間に時間が過ぎました。

海外の経験がとても豊富で刺激的で興味深い話がいっぱいでした。

(ももか)

インタビューでは、わかりやすく丁寧にお話をしてくださったので、ためになりつつも楽しい時間を過ごすことができました。先生の意外な一面や過去の経験談を聞き、知識の広さに驚きました。貴重な経験となりました。

(まっちゃん)

*** 紹介された本（金城学院大学図書館所蔵） ***

『幸福な王子』 請求記号：933.6/W73/2

『人はなんで生きるか』 請求記号：983/To47/9/BI



Copyright © Kinjo Gakuin University Library. All rights reserved.